



Osaka
Healthcare
Pavilion

カラダは
ひとつ。
ミライは
むげん。

【第 1 号議案】

(公社) 2025年日本国際博覧会大阪
パビリオンの残余財産の処分に係る
活用方針 (案) について

(公社)2025年日本国際博覧会大阪パビリオンの 残余財産の処分に係る活用方針(案)について

(公社)大阪パビリオンより、推進委員会に対し、残余財産の処分にかかる活用方針(案)について、意見照会があったことから、推進委員会規約第11条第1項第4号に基づき、決議を得るもの。

活用方針(案)

残余財産の原資は、大阪ヘルスケアパビリオンの出展にご賛同いただき、協賛されたものであることから、後世に向けたレガシーとして、大阪ヘルスケアパビリオン出展の意義・目的に沿い、パビリオンでの取組みの更なる進展に資する事業に活用することとする。

【第1号議案：参考】(公社)大阪パビリオンの残余財産の取扱いについて

議案の趣旨

- ・(公社)大阪パビリオンが所有する財産については、(公社)大阪パビリオン定款第47条(残余財産の帰属)において、法人が清算をする際に、社員総会の決議により、所在する地方公共団体に贈与することとされており、大阪府・大阪市への贈与が予定されている。
- ・今般、(公社)大阪パビリオンより、推進委員会に対し、残余財産の処分にかかる活用方針(案)について、意見照会があったことから、当該財産の原資が企業等からの協賛金であることを踏まえ、協賛者でもある推進委員会委員にお諮りするもの。

大阪ヘルスケアパビリオンの収支見込み

※2025年12月末時点の見込みであり、今後変更となる可能性がある。

区分	収入	支出	残余財産
税	115.1億円	115.1億円	0円
協賛金等	135.7億円	132.0億円	3.7億円
合計	250.8億円	247.1億円	3.7億円

- ・2025年11月に開催した大阪パビリオン推進委員会総会において、事業規模の見込みを約252億円と公表
- ・その後、閉幕以後の解体撤去費用など、各種契約額の確定等に伴い、2025年12月時点での事業規模は約247.1億円と見込む。(約4.9億円の減少)。
- ・協賛金等を財源とした支出は、約132億円と見込んでおり、これまでに受領した協賛金等の額(約135.7億円)のうち、約3.7億円が残余財産となる見込み。

【第1号議案：参考】(公社)大阪パビリオンからの意見照会

意見照会文

2025年12月24日

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会
会長 吉村 洋文 様

公益社団法人 2025年日本国際博覧会大阪パビリオン
代表理事 横山 英幸

残余財産の財産処分に係る活用方針(案)について(意見照会)

標記について、当法人は2026年度の解散を予定しており、清算時において有する残余財産は、定款に基づき、社員総会の決議を経て大阪府・大阪市へ贈与することとなります。贈与後の財産は、大阪府・大阪市において活用されるものではありませんが、この残余財産の原資が企業等からの協賛金であることを踏まえて活用いただきたく、理事会において次のとおり活用方針(案)を決定しました。

つきましては、活用方針(案)について、貴委員会の意見も踏まえたうえで成案としたく、ご意見いただきますようお願い申し上げます。

記

1 活用方針(案)

残余財産の原資は、大阪ヘルスケアパビリオンの出展にご賛同いただき、協賛されたものであることから、後世に向けたレガシーとして、大阪ヘルスケアパビリオン出展の意義・目的に沿い、パビリオンでの取組みの更なる進展に資する事業に活用されたい。

2 残余財産の見込み額

別紙のとおり ●

3 今後の取り扱い

活用方針(案)にご賛同いただけた際には、これを成案としてまいります。

別紙

大阪ヘルスケアパビリオンの収支見込について

別紙

収支見込(2025年12月)

区分	収入	支出	残余財産
税	115.1億円	115.1億円	0円
協賛金等	135.7億円	132.0億円	3.7億円
合計	250.8億円	247.1億円	3.7億円

活用方針(案)

残余財産の原資は、大阪ヘルスケアパビリオンの出展にご賛同いただき、協賛されたものであることから、後世に向けたレガシーとして、大阪ヘルスケアパビリオン出展の意義・目的に沿い、パビリオンでの取組みの更なる進展に資する事業に活用されたい。

意見照会後の取扱い

・大阪パビリオン推進委員会の賛同を得られた際には、残余財産の贈与後、本方針に沿った活用がなされるよう、大阪府・大阪市と調整する。